

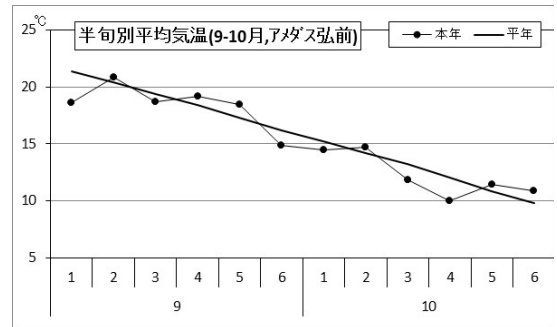
農作物の生育状況（10月31日現在）

中南地域県民局地域農林水産部

1 気象

10月1～30日の平均気温は平年に比べ0.3℃低かった。降水量は平年比192%、日照時間は平年比86%となった。

10月23日の台風21号及び30日の台風22号による被害は、ほとんどなかった。



2 水稲

刈取は全体的に遅れ、管内の刈取終りは平年より10日遅い10月20日となった。生育観測ほのつがるロマンの平均収量は618kg/10aで平年(586kg/10a)を上回った。

国が発表した10月15日現在の水稲作況指数は、津軽は102の「やや良」、県全体では101の「平年並」となった。

3 大豆

収穫は10月19日頃から始まり、11月20日頃には終了する見込みである。

4 りんご

10月21日現在、弘前市独狐のふじの肥大(横径)は9.2cmで平年(8.7cm)を上回っている。

有袋ふじ、王林の収穫が最盛期となっており、無袋ふじの収穫が始まった。

5 ぶどう

生育観測ほ(弘前市石川)のスチューベンの収穫は平年よりやや遅い10月19日で終了した。

品質は良好で、収量はほぼ平年並となっている。

6 トマト

主力の5月上旬定植では、13～14段果房が収穫期となっており、裂果や病害虫の発生も少なく生育は概ね順調である。

7 高冷地野菜

秋にんじんの収穫は、平年よりやや早い9月20日頃から始まり、11月上旬で終了する見込みである。生育初期の乾燥の影響で、分根やくびれなどの発生が例年に比べ多めである。

スイートコーンの収穫は10月上旬で終了した。一部で台風による倒伏があったが、病害虫の発生は少なく、収穫量は例年に比べて多かった。

8 花き

秋ギクの収穫は、例年よりやや早い10月15日頃から始まり、11月上旬で終了する見込みである。品質は概ね良好である。

トルコギキョウ(7月定植作型)の収穫は、11月15日頃で終了する見込みである。